



歴史未来館からのお知らせ

ウッドバーニングを体験しよう!

電熱ペンを使って、素材を焦がしながら絵や模様を描いていきます。ハガキサイズの板に名前や模様などを写し、電熱ペンでなぞって、オリジナルの表札やルームプレートを作ります。

日にち 9月8日(日)

時間 ①午前9時～ ②午前10時30分～ ※2回とも同じものを作ります。

場所 歴史未来館

講師 和田 真弓氏

定員 各10人(先着順・未就学児は保護者同伴)

材料費 400円

持ち物 赤のボールペン

申込方法 インターネット申込

※8月26日(月)午前9時より申込開始



▲申込はこちらから



企画展「放浪の画人・蓑虫山人～わが町に遺したもの～」

期間 9月7日(土)～10月14日(月・祝)

時間 午前9時～午後5時

場所 歴史未来館

入館料 無料

休館日 月曜日(祝日の場合はその翌日)

〒歴史未来館 ☎388-0161

Column コラム

見る!知る!学ぶ!れきみ通信

圧巻!放浪の画人・蓑虫山人の「美濃十二景」を一挙公開!

9月7日(土)より開催する企画展「放浪の画人 蓑虫山人」は、全国を放浪して描かれた作品の中で、笠松に滞在していた頃の作品を中心に、蓑虫山人の足跡を振り返ります。

歴史未来館では、平成22年4月にも、企画展「蓑虫山人」を開催しました。それから14年を経て、山人が笠松に多くの作品を残していたことがわかってきました。

蓑虫山人は、天保7(1836)年、美濃国安八郡に生まれ、母親を失ったことをきっかけに、14歳で放浪の旅に出ます。

21歳のときにミノムシを見て、あのような虫にも家があると感じた彼は、天幕のような笈

(おい)を自作し、「蓑虫」を号とします。

居場所を求めていた中、笠松で地元民から、「竹をくれるなら絵を描く」という条件で竹の庵を作りました。明治30(1897)年に完成した「籠庵」は、約15km離れた志段見(岐阜市長良)まで移動して据え付けられたと言われています。

今回は、「美濃国十二景」を、1階に並べます。圧巻12枚をご覧ください。

蓑虫山人の、その筆使い色使いをじっくりとご覧ください。

〒歴史未来館 ☎388-0161